



ホーム > ニュース > そのほか > 記事

ニュース

2016.10.24 Mon 19:04

声優・肝付兼太氏が死去 「ドラえもん」スネ夫や「ドカベン」殿馬、「銀河鉄道999」車掌など

『ドラえもん』の初代スネ夫役などで著名な声優・肝付兼太(本名: 肝付兼正)氏が、2016年10月20日に肺炎のため逝去した。80歳だった。

肝付氏は1935年の鹿児島県生まれ。国産アニメの黎明期から声優として活動しており、『オバケのQ太郎』や『パーマン』、『怪物くん』といった藤子不二雄作品の常連としてだけでなく、『元祖天才バカボン』の本官さん役、『ドカベン』の殿馬一人役、『銀河鉄道999』の車掌役、『おそ松くん』のイヤミ役など、長年にわたり数々の有名作に名を連ねてきた。独特の枯れたような甲高い声色で、個性的な脇役に命を吹き込んできた名優として知られている。

2012年の第6回声優アワードでは、功労賞を受賞した。

代表作として名高い『ドラえもん』では、ナルシストで口達者という嫌味なお坊ちゃんながら、こころ一番では持ち前の器用さで活躍する骨川スネ夫を好演し、1979年から2005年の声優陣一新まで26年にわたって務めあげた。同作での演技は、2005年の第14回日本映画批評家大賞・田山力哉賞ほか、2006年の第11回アニメーション神戸・特別賞、2007年の東京国際アニメフェア・第3回功労賞など、アニメ業界全体で高く評価されている。ジャイアン役を務めていた故・たてかべ和也氏とは公私共に50年以上の付き合いがあったことでも知られており、2015年6月にたてかべ氏が死去した際のスネ夫としての呼び掛けは、弔問客の涙を誘った。

『ドラえもん』の降板後も『それいけ!アンパンマン』のホラーマン役ほか、RPG『キングダム ハーツ』シリーズの新作が出るたびに『ピノキオ』のジミニー役として出演するなど、70歳を超えてなお精力的に活動していただけでなく、東京アニメーター学院の声優科講師など、後進の育成にも力を注いでいた。2011年11月より開設したTwitterアカウントでの活動報告も盛んだったが、病氣療養前の2015年10月に書き込んだ「演技ワークショップ」の告知が最後のツイートとなった。

【注目の記事】 [PR]

- ・ [【本気で英語を話したい人必見】短期集中英会話 \(ALUGO\)](#)
- ・ [富裕層顧客の共感をつかむには? 大切なのはとてもシンプルなこと \(HANJO HANJO\)](#)



🔗 訃報 特別編集

「大平透を偲ぶ献花式」6月20日にパレスホテル東京で...



✉ 編集部にメッセージを送る

《仲瀬 コウタロウ》

資産2億円を る勝利の方

少額投資でアパ
100万円から 資産
築いたひと。詳

shinoken.com



編集部ピックアップ



【侍霊魂
武将達か
で生まれ
【PR】

【声優ワークショップ】

人気声優たちが直接指導! ヒュー
優ワークショップ